

Title	表紙・奥付等
Author(s)	
Citation	青森県地域の消費者教育推進のための研究, 2017, 表紙・奥付等
Issue Date	2017-03-28
URL	http://hdl.handle.net/10129/6051
Rights	
Text version	publ isher



<http://repository.ul.hirosaki-u.ac.jp/dspace/>

2016年度 弘前大学人文社会科学部地域未来創生センター
プロジェクト事業報告書

青森県地域の 消費者教育推進のための研究



2016年度 弘前大学人文社会科学部地域未来創生センター
プロジェクト事業報告書

青森県地域の 消費者教育推進のための研究



序

本報告書は、2016年度プロジェクト事業「青森県地域の消費者教育推進のための研究」をまとめたものである。本書が青森県における消費者教育推進のために寄与できれば幸いである。編集委員の3名で研究を進めたが、青森県消費者問題研究会、青森県消費者協会の諸氏に有益な示唆をいただいて展開したものである。

報告書編集委員

(代表) 保田宗良
福田進治
長谷河亜希子

問い合わせ先 保田宗良
tel/fax 0172-39-3293 yasuda@hirosaki-u.ac.jp

目 次

インターネットを利用した通信販売における弘前大学生の意識調査	5頁
青森県地域の消費者教育推進のための研究	31頁
地域における消費者問題への取り組み	39頁
消費者フォーラム in HIROSAKI	41頁
あとがき	42頁

あとがき

筆者は、マーケティングの教育をしているが、最近進展を続けているウェブ・マーケティングは便利であるが、面倒なこともある。フリーソフトをダウンロードし、診断の結果がでたが修正は有料であったり、ダウンロード後、OSの状態が悪くなり、本業に支障を来したことがあった。学生のアンケートの事例集を見てもやっかいなことが起こっている。

この3年間、消費者問題、消費者教育のあり方を模索してきたが、質の高い事前学習を受けていれば、トラブルに巻き込まれることは稀有になる。地域のネットワークの構築は、そうした学習の場に多くの識者の見識を盛り込むために必要である。

過去2年間の研究成果は、2015年度 弘前大学地域未来創生センタープロジェクト事業報告書「青森県地域の消費者問題の考察」を参照していただければ幸いである。(弘前大学学術情報リポジトリで閲覧ができます。)

本報告書に対して御意見をいただき、ネットワーク構築を拡大できれば嬉しい限りである。

2017年2月 研究チーム代表
保田宗良

青森県地域の消費者教育推進のための研究
2016 年度 弘前大学人文社会科学部地域未来創生センター
プロジェクト事業報告書

2017 年 3 月 28 日発行

編集・発行者 同上編集委員会
代表 保田宗良
弘前市文京町 1 弘前大学人文社会科学部内
発行所 小野印刷
弘前市富田町 52